

私たちは文化財をとおして
ゆたかな滋賀づくりに貢献します。



財団法人滋賀県文化財保護協会
Shiga Prefectural Association for Cultural Heritage

季刊 みる・きく・ふれる 文化財

おうみ文化財通信 vol.3

Information of Cultural Heritage in OHMI

2010 Spring

1 財団法人滋賀県文化財保護協会は、 平成22年度、設立40周年を迎えます。

財団法人滋賀県文化財保護協会は、昭和45年（1970）に、文化財の調査研究とその成果を広く県民に普及することを目的に設立され、平成22年度設立40周年を迎えます。この間、文化財調査、特に遺跡の発掘調査は、揺籃期・成長期を経て、今、成熟期を迎えようとしています。ひたすら発掘調査のみが求められていた時代から、発掘調査によって蘇った、地域ごとの個性豊かな歴史を、その地域に生きる人たちに知っていただき、現代の生活に役立てることが、私たちが行う発掘調査に対する社会的な要請となる時代を迎えつつあるのです。社会に応えるため、私たちは、どうしたらより適切な発掘調査ができるか。どうしたらよりの確に発掘調査成果を多くの方々に発信できるか。思い悩み、日々試行錯誤を繰り返してきました。

論語に「四十而不惑（しじゅうにしてまどわず）」という言葉があり、これをもって四十歳を「不惑」と表現します。40周年を迎える今年、そしてこれから、私たちは、県民の皆様の財産である文化財のために奉仕するという理念の元、県民の文化財のため、惑うことなく持てる力の全てを発揮してまいります。今後ともよろしくお祈りいたします。



大津市関津遺跡出土 「四十」の墨書のある土器

2 【トピックス】埋文センター通信 ～源内峠遺跡・山ノ神遺跡の復元活動～ 古代を支えた瀬田山の焰

埋文センターのロビー展示が新しく変わりました。センターと地元の皆さん（源内峠遺跡復元委員会）とのコラボレーション。源内峠遺跡復元委員会は、瀬田学区で遺跡の勉強会を重ねられ、平成19年度は現地で源内峠遺跡の製鉄炉を復元し、平成20年度には、瀬田東市民センターで製鉄実験を行うなど、精力的に活動されている団体です。

今回の展示は、源内峠遺跡復元委員会がこれまで行ってきた、源内峠遺跡の復元活動の経緯を展示して、地元の人々の盛り上がりを感じて頂くことを目的としています。

期 間：平成22年（2010年）2月20日（土）～5月6日（休）
9時00分～16時30分（土・日・祝日は閉館）

内 容：源内峠遺跡を中心とした遺物展示および源内峠復元委員会の活動成果の報告

展示物：源内峠遺跡出土遺物、山ノ神遺跡出土遺物、源内峠復元委員会が復元した模型など

問い合わせ先：滋賀県埋蔵文化財センター

大津市瀬田南大萱町1732-2 TEL 077-548-9681/FAX 077-548-9682



展示物作成風景

3

【調査課通信】

縄文時代晩期の土器棺墓を発見 (東近江市永源寺
あいだにくまはら
相谷町相谷熊原遺跡)

相谷熊原遺跡は、紅葉で有名な名刹永源寺から見て、愛知川をはさんで対岸に所在する縄文時代の遺跡です。眼下には伊勢湾地方と湖東平野を結ぶ八風街道が通っており、両地域を結ぶ交通ルートの一環に立地します。

発掘調査では、縄文時代早期から晩期（約7,000年前～約3,000年前）にかけての遺構・遺物が見つかりました。なかでも、これまでに26基が確認された晩期前半（今から約3,000年前）の土器棺墓群は、県内でも有数の規模・内容を誇っています。日常で使用する土器を、遺骸（骨）を入れる棺として使用しており、このような習俗が流行する最初期のものです。

また、調査区からは東海・北陸系の遺物も出土していることから、今回の調査結果が土器棺墓という習俗が、どのようなルートで伝播していったかを探るうえでの貴重な資料といえます。

調査は継続中です。今後も新たな発見があるかもしれませんので、今後の展開にご期待下さい。



4 【コラム】

文化財が楽しい！ ～リサイクルの考古学～

発掘調査で出土する土器は、ほとんどが割れた状態で、しかもたくさんの種類の土器の破片が入り混じった状態で出土します。ですから、土器の破片とにらめっこしながら、同じ個体の土器片を探し出し、これをひっつけ、どうしても見つからないところは石膏で補ったりしながら、元の形に復元していきます。この復元作業は発掘の基本ですが、根気と、土器の特徴を見極める経験がものをいう、難しい作業です。一度チャレンジしてみませんか？

さて、土器の破片をひっつけるのにはもちろん接着剤を使いますが、発掘調査でも接着剤が付着している破片が見つかることがあります。写真1は、膳所城下町遺跡で見つかったお茶碗ですが、破片の断面に白い接着剤がついているのがわかります。江戸時代の考古学者の遺跡？違います。これは白玉粉という鉛ガラスの接着剤を使った「焼継（やきつぎ）」と呼ばれる方法で、割れたお茶碗をリサイクルしたものです。江戸時代には、この焼継を専門に行う、いわばリサイクルを職業とする職人がおり、修理したお茶碗に「焼継印」という一種のサインを入れることも行われていました。リサイクルの需用品がとて高かったことがわかります。

もう一枚の写真は、大津市粟津湖底遺跡から出土した縄文土器の破片です。よく見ると、丸い穴が2つあります。これは、割れた土器をひもで縛ってリサイクルした際に開けた穴です。強力な接着剤を持たなかった縄文人達の、リサイクルへの知恵と工夫の跡です。

滋賀県埋蔵文化財センターでは「リサイクルの考古学コーナー」を設け、昔の人たちのリサイクルへの工夫を展示しています。ぜひご覧いただき、彼らが語りかける、限りある資源を大切に使う生活へのヒントに、耳を傾けてみてください。



写真1 大津市膳所城下町遺跡出土 焼継した茶碗



写真2 大津市粟津湖底遺跡出土 補修した縄文土器

5

【琵琶湖文化館通信 -あきつ君便り-】

近江の文化財、九州で展示！

★
★
★
湖の国の名宝展
★ 開催決定！ ★

本年度、琵琶湖文化館開館50周年という節目の年に、当館の館藏品・寄託品の文化財が、九州国立博物館において展示されることになりました！

トピック展示『湖の国の名宝展』

出品されるのは、国宝・重要文化財など優品を選びすぎた約60点。滋賀の誇る文化財が、遠く九州の地においても、多くの人々を魅了することでしょう。頑張れ！近江の文化財！

トピック展示

「湖の国の名宝展-九州国立博物館開館5周年・滋賀県立琵琶湖文化館開館50周年記念-」

開催期間：平成22年6月11日(金)～9月5日(日)

会場：九州国立博物館 文化交流展示室9・11室（福岡県太宰府市）



6

【まなぶ】平成22年度連続講座のご案内
新・文化財もの知り学2010

平城遷都
1300年企画

都を支えた近江 そして琵琶湖

平成20年度から開講している連続講座「もの知り学」の受講生の募集が始まります。

今年度は全7回。財団法人滋賀県文化財保護協会設立40周年記念事業の一環として、共通テーマ「琵琶湖が育てた歴史と文化」の下に、調査担当者が培った発掘・整理調査および研究の成果を、わかりやすくお話していきます。お申し込みいただいた方には特典も!?

詳細は当協会ホームページやチラシでお知らせいたします。お楽しみに！



平成22年度の予定（全7回 各回とも13：30～15：30）

- 1) 7月4日 古代の水路と陸路-近江のネットワークの原型を探る
- 2) 8月1日 発掘！古代物流の実像-律令国家は何を目指したか？
- 3) 9月5日 銭が語る古代の近江-祭祀と経済
- 4) 10月17日 天下を扼す橋-唐橋を渡った日本の歴史
- 5) 12月5日 平城への運河・瀬田川-東国のハブ港・関津
- 6) 1月30日 特別講座・歴史の大河-浅井三姉妹・「お江」を巡る人々
- 7) 2月27日 港を護る神社-塩津木簡が語る物流と神との交流

定員：50名（応募者多数の場合は先着）

受講料：3,000円（全7回一括 年間パス・修了証つき）

会場：滋賀県立図書館会議室

申し込み方法

：お電話で下記までお申し込み下さい。

077-548-9780

財団法人滋賀県文化財保護協会

総務課 連続講座係

（受付時間 8：30～17：15

土日祝祭日除く）

※お名前とお電話番号をお申しつけ下さい。

募集締め切り

：6月25日(金) 17：15

定員になり次第締め切ります。

個人情報の取り扱いについて

皆様から頂戴した個人情報は、本講座の運営のみに使わせていただきます。



平成21年度公開講座の様子

■財団法人滋賀県文化財保護協会主催事業■ 問い合わせ先：TEL 077-548-9780/FAX 077-543-1525

| 日程 | 曜日 | 時間 | イベント名 | 定員 | 予約 | 参加費 | 会場 (集会所) |
|------|----|---------------|---|-----|----|-----|------------|
| 6/20 | 日 | 13:30 ~ 16:30 | 講座 協会40周年記念事業 開幕記念講演会 近江ひと語りもの語り-琵琶湖が育てた歴史と文化- | 120 | 不要 | 500 | 滋賀県立図書館会議室 |

■滋賀県立安土城考古博物館主催事業■ 問い合わせ先：TEL 0748-46-2424/FAX 0748-46-6140

| 日程 | 曜日 | 時間 | イベント名 | 定員 | 予約 | 参加費 | 会場 (集会所) |
|-------------|----|--------------------|---|-----|----|-----------|--------------|
| 4/24 ~ 6/13 | ○ | 9:00 ~ 17:00 | 展示 平成22年度春季特別展 「導水施設と埴輪群像から見えてくるもの-古墳時代の王権とまつり-」 | 無 | 不要 | 特別展 料金 | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 4/24 | 土 | 9:00 ~ 17:00 | 講座 スライド発表会 「観音寺城最新情報」 | 無 | 不要 | 無料 | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 4/29 | 祝 | 10:30 ~ 15:00 | 体験 春のお茶会 | 100 | 不要 | 300 | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 5/3 | 祝 | 10:00 ~ 13:30 ~ | 体験 体験博物館 勾玉をつくろう!! | 各30 | ○ | 500 | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 5/4 | 祝 | 10:00 ~ 16:00 | 体験 第18回親子写生大会 雨天の場合翌日の5日(祝・水)に延期 | 100 | 不要 | 無料 | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 5/5 | 祝 | 13:30 ~ 15:00 | 講座 特別展記念講演会「私説埴輪論」 講師：水野 正好氏 (奈良大学名誉教授) | 140 | 不要 | 無料 | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 5/16 | 日 | 13:30 ~ 15:00 | 博物館講座「家形埴輪と導水施設」(仮題) 講師：青柳 泰介氏 (奈良県立橿原考古学研究所) | 140 | 不要 | 無料 | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 5/23 | 日 | 13:30 ~ | 体験 体験博物館 埴輪にふれてみよう!! | 30 | ○ | 未定 | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 5/30 | 日 | 13:30 ~ 15:00 | 博物館講座「水をまつる王たち-水利開発と神まつり-」 講師：若狭 徹氏 (高崎市教育委員会) | 140 | 不要 | 無料 | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 6/6 | 日 | 13:30 ~ | 体験 体験博物館 木村古墳群を探検する | 20 | ○ | 未定 | 未定 |
| 6/13 | 日 | 13:30 ~ 15:00 | 博物館講座「宮崎県百足塚古墳の調査」(仮題) 講師：有馬 義人氏 (新富町教育委員会) | 140 | 不要 | 無料 | 滋賀県立安土城考古博物館 |
| 6/22 ~ 7/4 | ○ | 9:00 ~ 17:00 | 展示 第18回親子写生大会 作品展示 | 無 | 不要 | 400 | 滋賀県立安土城考古博物館 |

■滋賀県立琵琶湖文化館主催事業■ 問い合わせ先：TEL 077-522-8179/FAX 077-522-9634

| 日程 | 曜日 | 時間 | イベント名 | 定員 | 予約 | 参加費 | 会場 (集会所) |
|------------|----|--------------|---|----|----|-----|-------------------------|
| 6/11 ~ 9/5 | ○ | 9:30 ~ 17:00 | 展示 湖の国の名宝展-九州国立博物館開館5周年・滋賀県立琵琶湖文化館 開館50周年記念- | 無 | 不要 | 420 | 九州国立博物館 文化交流展示室9・11室 |

■滋賀県埋蔵文化財センター主催事業■ 問い合わせ先：TEL 077-548-9681/FAX 077-548-9682

| 日程 | 曜日 | 時間 | イベント名 | 定員 | 予約 | 参加費 | 会場 (集会所) |
|------------|----|--------------|------------------------------------|----|----|-----|--------------|
| 2/20 ~ 5/6 | ○ | 9:00 ~ 16:30 | 展示 古代を支えた瀬田山の焔 ~源内峠・山ノ神遺跡の復元活動~ | 無 | 不要 | 無料 | 滋賀県埋蔵文化財センター |

8

【トピックス】最新刊販売中!!

『びわこ 水中考古学の世界』

平成21年の夏に、滋賀県立安土城考古博物館で開催しました調査成果展「水中考古学の世界-びわこ湖底の遺跡を掘る-」の関連シンポジウム・講座の記録のほか、書き下ろしの調査苦労話、さらに、琵琶湖と内湖の湖底遺跡一覧・概要など、幅広く楽しみ、利用していただける内容です。

第1部 シンポジウム「びわこ水中考古学の世界」

1. 琵琶湖湖底遺跡調査30年の成果

滋賀県立大学人間文化学部 教授 林 博通

2. 琵琶湖湖底遺跡からみた縄文時代

協会 小島 孝修

3. 遺構・遺物から見た琵琶湖の湖底・湖岸遺跡

協会 小竹森直子

4. 討論「びわこ水中考古学の世界」

第2部 湖底遺跡への挑戦の軌跡

1. 琵琶湖湖底遺跡調査の方法と歴史

協会 濱 修

2. 水中カメラ・ハンマークラブ・ジェットポンプ-初期の試掘調査あれこれ-

滋賀県立安土城考古博物館 大橋 信弥

3. 「水中考古学の世界」からの贈りもの

協会 瀬口 眞司

◆価格 1,890円 (消費税込み・送料は当方で負担いたします)

◆ご注文・お問い合わせ

財団法人滋賀県文化財保護協会総務課 電話 077-548-9780

FAX 077-543-1525 (必要事項：書名・冊数・氏名・住所・電話番号)

ホームページ <http://www.shiga-bunkazai.jp/> (「図書・報告書購入申し込み」シートをご利用下さい)